

25年1月6日

宮前区総合防災訓練参加報告

(文責) 花の台町内会長 長谷川大二

はじめに

宮前区の危機管理担当から、本年度は区主催で、全区内自主防組織へ呼び掛け、通常の防災訓練のほか、一時避難場所での集合から避難ルート確認作業を行いつつ避難所へ誘導し、宿泊を伴う避難所開設訓練を実施したい、会場は花の台町内会にある3つの避難所のうち、宮前平小学校としたいという説明を頂いた。防災訓練と避難所開設訓練を合わせることで、総合訓練となるそうである。訓練プログラムや講師、備品、使用器具の手配、消防署、警察署、小学校また社会福祉協議会、赤十字等への連絡もすべて区役所のほうで行うという。花の台町内会は自主防組織として、宮前平小避難所運営会議と、町会会員への参加呼び掛けを担当する。避難所宿泊訓練参加者は、区役所へ参加申し込みをする。その呼びかけも花の台町内会自主防で担当する。

6月22日に区役所で開かれた、宮前区自主防災組織の総会で、以上の趣旨が発表され、期日は11月17日(土)18日(日)と発表された。

9月14日に宮前区自主防災避難所合同会議でも報告があった。

10月15日付書簡に依り、区長から花の台町内会長あて、協力依頼があった。

町内会では5,100世帯の町内会員に対し、各自に割り当てられる一時避難場所(公園)の位置知らせ(別添資料)や誘導者(町会役員)の指定、プラカードの準備や、一時避難場所に掲示看板を用意する一方、一時避難場所で配布する参加者票と記念品引換券の配布準備、また筆記具の用意を行った。回覧版のほか、訓練の「お知らせ」を全戸配布し、町内16か所の掲示板へ「お知らせ」を掲出し、前日夕方と当日午前、広報車にて「お知らせ」をアナウンスした。

町内会にはマンションが多いため、マンション管理会社である東急コミュニティー、大京アステージ、エム・シー・サービス等へポスター掲示等の協力を要請した。

第一部 防災訓練

午前中に広報車が町内を周回した時は曇り空であったが、午後2時の一時避難場所集合の時間には雨となり、参加者は傘をさし7つの公園から140名(参加票提出者数 資料1)が宮前平小学校へ向かった。公園資料配達と誘導補助に宮前平小PTA(避難所運営委員)校外委員20名が参加した。

会場では宮前区内各自主防よりの参加者等、会場直接来場者を併せ受付後、参加者は全員校庭に集っていただく予定であったが、降雨のためピロティに集合し、半数を体育館、残り半数はピロティ付近で行われる防災訓練(起震車体験、煙内歩行体験、実物の火炎めがけ消火器を使う初期消火訓練 以上消防署担当; 車椅子乗降移動補助訓練 社会福祉協議会担当)と、昇降口付近で行われるAED、心肺蘇生訓練、三角巾救護訓練(赤十字奉

仕団担当)に順次参加して頂いた(写真等は花の台町内会ホームページ参照)。

体育館では「避難の心得」の講義のあと、一時避難場所から避難所までの歩行経路で道すがら「新たに知った点・気付いた点」を、各公園で配布された、会場までの地図とメモを見ながら意見が発表された(資料2)。

ピロティでは市役所まちづくり局より、町会役員、避難所運営委員(町内会役員、学校、PTA)に対し、発災時、避難所が開設できる状態にあるか点検するチェックリスト「避難所確認票」(資料3 様式7)が説明された。

17時に石澤区長が到着し、訓練参加者に労いの言葉を頂き、記念品が引き渡された。降雨が激しくなり、区長の言葉も時折かき消されるほどであった。

第一部の訓練は終了となった。

第二部 避難所宿泊訓練

17時30分石澤区長のあいさつの後、宿泊訓練が開始された。プログラムに従い避難所備蓄品の使用体験と言うことで、「簡易トイレ」の組立て、発電機による発電と照明灯接続点灯、灯油コンロによる災害時非常食(α米)の炊飯盛り付けで夕食となった。

降雨激しく、体育館に僅かではあるが雨漏りがあった。避難用具を取りに一旦帰宅した会員から、街路の落葉が多く、踏むと滑りやすいので注意が必要と報告を受けた。また、晩秋であり、日がすぐ暮れるため、傘をさし、荷物を持つての歩行は困難と指摘された。

発災時の天候次第で、雨具や防雪具の置き場(乾燥室)の確保に留意が必要である。

宿泊の準備に入り、各自毛布3枚のほか、用意のある段ボール(体育館の床に敷き、身体とのクッションとする)、ビニール袋(毛布を包んでいたもの。保温材に使える)が配布された。家族参加者がふた組おいでであった。子どもは元気に飛び跳ねている。

花の台自主防本部長(花の台町内会長)が、4つのブロックと通路を確保し、町丁別に8人平均で区分けした。宿泊訓練参加者は32名であった(区役所関係を除く 資料4)。

21時区長挨拶の後、訓練終了となり、22時消灯、翌朝6時半起床という連絡があった。消灯までの間、保温やサバイバル術の公開また、3.11のビデオが流された。

雨脚が弱まり、低気圧が去っていったのが感じられた。

6時30分起床。7時寒いので、コンサル兼司会者(自衛隊OB)による天突き体操。

お湯が沸かされ、災害救助α米3種類から選ぶ朝食であるが、缶詰パンの支給もあった。

近くの宮前平中学校(花の台町内にある避難所の一つ。先週避難所開設訓練が行われた)から、避難所運営委員である瀧村主任と小森先生が慰安旅行先から駆けつけた。

7時45分から「避難所運営等に関する検討会」が開かれ、4ブロックから発表があった(資料5)。

9時 朝日の中解散。

以上